

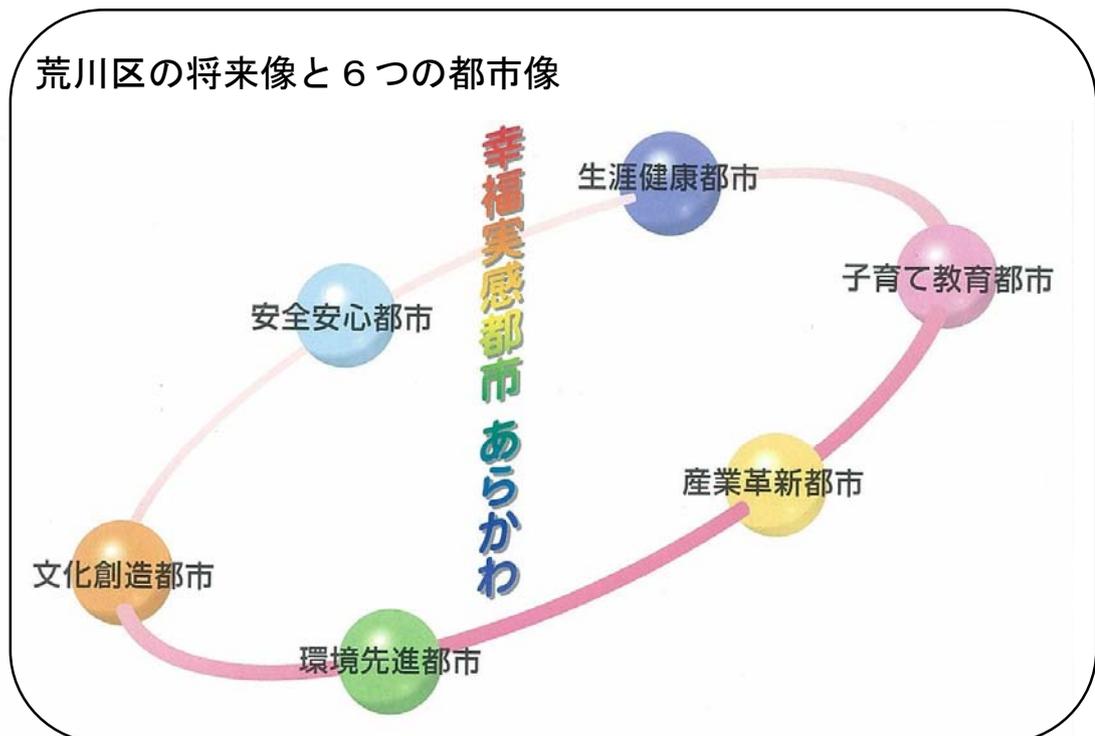
第1章

区政経営戦略プランの基本的な考え方

1 区政経営戦略プラン策定の背景と目的

(1) 策定の背景

- ・ 荒川区では、平成19年3月に策定した荒川区基本構想に、おおむね20年後の区の目指すべき将来像として「幸福実感都市 あらかわ」を掲げ、今後実現すべき姿として、分野別に6つの都市像を示しました。
- ・ そして、将来像の実現に向けた区の取組として、「区民の主体的な区政参画と連携強化」「積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進」「目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進」の3つの方針を掲げました。
- ・ 基本構想を実現するための戦略書である基本計画では、将来像の実現に向けた区の取組として、8つの計画施策（重点的に取り組む施策）を計画化しています。
- ・ 世界的に経済情勢が悪化し、区財政を取り巻く環境が大変厳しさを増す中において、基本計画を着実に推進し、6つの都市像を実現するためには、限られた財源を重点的に投入するとともに、徹底した事業の見直しを行い、将来にわたって持続可能な行政システムへと転換していかなければなりません。

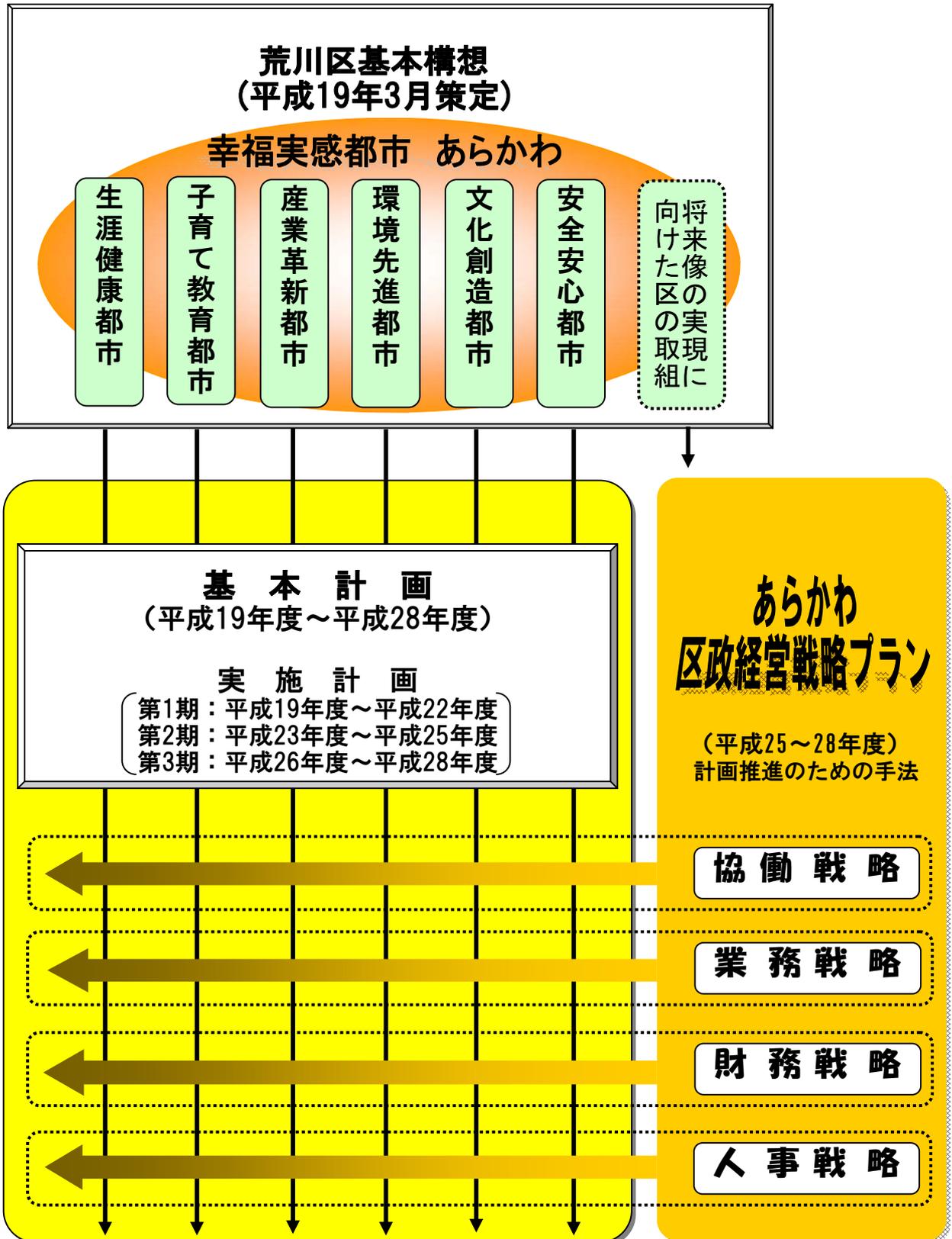


(2) 策定の目的

- ・ 荒川区では、これまでも、数次にわたる行財政改革計画に基づき、事業の見直しや経費の削減のみを目的とするのではなく、区民サービスの向上や施策の充実を図るという視点を重視した行財政改革に積極的に取り組んできました。
 - ・ そして、今後も一層、行政資源を選択と集中により適正かつ有効に配分するとともに、たゆまぬ改革と改善の努力により、区政運営の一層のレベルアップと効率的かつ効果的な施策の推進を図り、持続可能な行政システムへと転換していかねばなりません。
 - ・ 「あらかわ区政経営戦略プラン」では、基本構想に示した6つの都市像を実現するための戦略として、中長期的な目標を持った基本計画、短期的な実施計画を効率的かつ効果的に推進するため、区政運営の改革、改善に向けた戦略を次の4つの視点からまとめました。
- ① 多様化・複雑化する区民ニーズや地域課題に的確に対応するため、区民、事業者や地域団体等、そして区といった、地域に関わる様々な主体が適切な役割分担の下、協働のまちづくりを進めます。
 - ② 区政運営の基本は、「最少の経費で最大の効果を生み出すこと」です。常に制度、仕組みや仕事の進め方を見直し、事務事業の再編、整理等を進めることにより、低コストで高品質の区民サービスの提供を目指します。
 - ③ 深刻な経済情勢の悪化により、区の財政基盤は大変厳しい状況に置かれています。6つの都市像の実現のためには、多くの財政支出が見込まれます。このため、中長期にわたり計画的な収支のバランスを図り、財政基盤の強化を目指します。
 - ④ 区民の区政に対する熱い期待にこたえていくためには、これまで以上に職員の果たす役割が大きくなってきます。そこで、高い職務意欲を持ち、知識や能力を兼ね備えた職員集団の形成を目指し、創造的な人事行政への転換を図ります。

2 区政経営戦略プランの位置付け

本プランは、基本構想、基本計画、実施計画等をより効率的かつ効果的に推進していくため、「協働戦略」、「業務戦略」、「財務戦略」及び「人事戦略」の4つの視点から、区政運営の改革、改善の基本的な方向性や具体的な手法等を提示します。



3 区政経営戦略プランの4つの視点

本プランで提示する区政運営の改革、改善の基本的な方向性や具体的な手法等に係る4つの視点は、次のとおりです。



4 計画期間

平成25年度から28年度までの4年間

5 進行管理

社会経済情勢の変化や国・都の動向等をとらえ、本プランの内容にフィードバックし、必要に応じて迅速かつ柔軟に見直しを行うことにより、計画の実効性を担保します。

また、個々の実施項目及び年度別計画については、行政評価制度等を活用し、進捗状況の確認と着実な進行を図ります。